

# 分野別施策展開の考え方

**基本的視点 = 更なる施策の重点化(産業振興施策の重視) ・明確な役割分担と連携強化 ・効率性・即応性の重視**  
**目指す方向 = 消費者を意識した商品づくり ・新たな付加価値付けと販路開拓 ・新規参入促進と担い手への支援集中**

## 農 業

**1. 基本目標**  
消費者に支持され、産業として自立する「しまねの農業」

↓

(目標例)	2007年
販売額年間1千万円以上農家	550戸
農業生産法人数	140経営体
販売額1千万円以上の農産物加工経営対数	63経営体

**2. 基本方針**

**①消費者の声を活かすしくみづくり**

- 消費者ニーズの把握、産地への情報提供
- 多様な販路創出と拡大
- トレーサビリティ等産地情報の発信

マーケティング活動の推進  
 輸出を含む多チャンネル販売

**②特色ある、売れるものづくり**

- 品質、安全等特色あるもの・産地づくり

エコ・有機農業生産の推進  
 加工・新商品開発

**③地域を元気にする人づくり**

- 新規就農者の育成、認定農業者、集落営農組織、農業法人等の育成

U・Iターン者への経営支援  
 集落営農の推進と高度化

**④農業を核とした地域づくり**

- 都市農村交流による活性化
- 条件不利地域での集落維持の取組など

**3. 主な推進手法**

- 課題毎のプロジェクト方式による推進
- 数値目標設定と綿密な進行管理など

## 林 業

**1. 基本目標**  
木や森を使い、しまねの「緑豊かな森」を未来に引き継ぐ

↓

(目標例)	2007年
木材生産団地設定面積	16.5千ha
合板等原木安定取引量	60.8千m <sup>3</sup>
森づくり活動参加人数	51.0千人

**2. 基本方針**

**①いつでも木材を安定供給できる森林(もり)づくり**

- 森林施業・経営の集約化

需要に即応する森林情報把握  
 林業事業体による施業・経営の集約化  
 推進と生産コスト低減 等

**②需要者の声に応える原木流通の仕組みづくり**

- 原木流通の効率化

流通の多様化の推進と販路拡大 等

**③確かな品揃えができる製品(もの)づくり**

- 木材需要拡大

品質性能の明確な製品づくりの推進  
 ターゲットに応じた戦略的販売 等

**④環境にも貢献できる木質バイオマスの産業づくり**

- 木質バイオマス利用促進

資源の安定供給と普及・PR 等

**⑤県民が森林を支える環づくり**

- 県民の理解・参加促進

企業・NPO団体等ボランティア活動との協働による森づくりの推進 等

**3. 主な推進手法**

- 課題毎のプロジェクト方式による推進
- 数値目標設定と綿密な進行管理など

## 水 産 業

**1. 基本目標**  
競争力のある企業経営の推進と「環境」と「地域」との共生

↓

(目標例)	2007年
漁業生産量(年間)	133千ト
漁業新規就業者数(年間)	15人
基幹漁業の漁労体数(累計)	163漁労体

**2. 基本方針**

**①適正な資源管理のしくみづくり**

- 栽培漁業、漁場環境の保全の推進
- 資源情報収集等による資源管理の適正化

つくり育てる漁業の推進  
 資源管理計画の推進

**②漁業経営基盤の強化のしくみづくり**

- 沖合漁業経営体の体質改善
- 新たな担い手の確保と漁協組織の再編
- 島根の魚特産品戦略の推進

基幹漁業漁船の更新促進  
 1県1漁協(H18年1月JFしまね発足)  
 「島根の魚」特産品戦略の展開等

**③県民と共生する水産業づくり**

- 異業種交流や都市部との交流推進
- 漁村環境整備

都市と漁村の交流  
 漁村の生活環境整備

**3. 主な推進手法**

- 課題毎のアクションプログラムによる推進
- 重点施策への集中化

